

平成23年度第1回中原区区民会議地域課題対応事業検討部会会議録

1 開催日時 平成23年7月25日(月) 午後2時~午後3時40分

2 開催場所 中原区役所5階505会議室

3 出席者

委員 杉野部会長、大下副部会長、岡本委員、寺岡委員、松原委員、村山委員

事務局 石澤副区長、綱島企画課長、服部課長補佐、宮田担当係長、園田担当係長、橋本職員、深谷職員

関係職員 地域振興課 松原課長補佐、井上係長、地域保健福祉課 小金井課長、西野担当課長、竹内係長、保健福祉サービス課 高山係長、こども支援室 豆白室長、千葉担当課長

4 議題

(1) 会議録確認委員の選任(公開)

(2) 平成22年度中原区協働推進事業評価について(公開)

5 傍聴者 なし

6 会議内容

(1) 会議録確認委員の選任

寺岡委員を選任

(2) 平成22年度中原区協働推進事業評価について

事務局 資料2及び3に基づき、平成22年度中原区協働推進事業実施結果について説明

寺岡委員 区で設置している案内サインは小さいのではないかと。また、駅へ誘導するサインが不足しているように感じている。私自身、よく聞かれることがある。

村山委員 案内サインにマンション名が記載されていない。マンション名を知りたいという区民もいるので、表示できないか検討してもらいたい。

中原区ガイドマップについては、区民から非常に喜ばれていると感じている。

松原委員 小杉駅周辺だけでなく、他の地域にも案内サインを設置してもらいたい。

綱島課長 案内サインについては、「川崎市中原区小杉地区周辺サインマニュアル」に基づき、設置している。そのため、現在は小杉駅周辺のみでの設置となっている。また、表示内容についても、本マニュアルに基づいて、決めている。

岡本委員 「なかはらパンジー体操」は、一般の高齢者向けとしては難易度が高いように思われる。また、作ったばかりなので、普及が課題である。福祉健康まつりについては、「福祉」だけでなく、もっと「健康」にも力を入れていってもよいのではないかと。

松原委員 パンジー体操は難しすぎて、足腰の弱い高齢者には向かない。一般向けのパンジー体操と高齢者向けのパンジー体操に分けてもよいのではないかと。

杉野部会長 もう少し簡単な体操を作成してもよいのではないかと。

寺岡委員 子育てサロンは、たまには土日で開催すると父親も参加できるようになり、

より広がりが出るのではないか。

村山委員 NPO 法人小杉駅周辺エリアマネジメントでは、「パパママパーク」を開催しているが、月1回は土曜日に開催している。父親の参加も多数見られるところである。

大下副部長 川崎市は全国に先駆けて子どもの権利条例を制定した。私自身、子育てするようになり、色々と話を聞く機会が増えたが、これから子育てする人達にもこの条例についての講義を聴いてもらうことで安心して子育てをしているのではないかと感じている。

子ども支援ネットワーク事業では、就学児の子どもへの心のケアをできる事業があると良いと思う。

松原委員 子育てサロンを卒業した母親の行き場について、考える必要がある。サロンに参加した母親から聞かれることが多い。中には、子ども文化センターでリーダーとして活躍されている方もいる。そういう方をいかに多く育てていくかが課題である。

また、子育てサロン開催中に大地震が来た時の対策も考えなければならない。

豆白室長 過去、防災については全体研修を行ったところであるが、今回の震災を契機に、改めて災害対策について、検討していきたい。

千葉課長 子育てサロンを卒業した母親については、子育てネットワークの自主グループ部会において、母親同士の交流等を行っているところである。

寺岡委員 区長杯贈呈事業については、スポーツだけではなく、文化的な活動を顕彰しても良いのではないか。

松原委員 区役所サービス向上事業については、区民の意見を採りいれているのか。

綱島課長 この事業では、毎年来庁者アンケートを実施しており、その結果を事業に反映させているところである。

松原委員 市民提案型事業の不用額が多いのはなぜか。

綱島課長 市民からの提案が少ないため、執行額が少なくなっている。もっと提案してもらえよう事業の周知に努めてまいりたい。